

涙腺崩壊！

それはうれし涙？ 悲しみの涙？
涙なくしては読めない最強の11冊

日下部くんには日傘が似合う

神戸遥真 作／ぽん豆° 絵

いつも自由で楽しそうな日下部くんが、ぼくらはちょっとうらやましい。日射しの強くなりはじめた五月。クラスでも学校でも人気者の6年生の日下部くんが、突然、フリフリのかわいい日傘をさしてきた。そんな日下部くんの日傘をきっかけに、周囲の子どもたちが「本当の気持ち。を考えていく。日下部くんがなぜこの日傘を使うようになったのか・・・。

学校生活 家族・友達

2025年4月刊行

1300円+税／A5変型判／155ページ

あかね書房



978-4-251-04493-8

絵本

さよならなんかしない

佐藤まどか・森山花鈴 文／高橋和枝 絵／自死遺児支援プロジェクト 企画
「三学期が始まったばかりの昼休み、先生がぼくを職員室に呼んだ。先生は、ぼくのことをまっすぐ見ながら、こう言った。『あの子、びっくりせんと聞いてくれるかな？お母さんから電話があってな、お父さんがたおれたから、帰してくださいって。』自死により父を亡くした(ぼく)の心の物語。深い悲しみに寄りそうグリーフケアの絵本。自死遺児だけでなく、その周囲の親、教師、カウンセラー、友だちにも読んでもらいたい1冊。

家族・友達

2025年11月刊行

1700円+税／20.6×18.8cm／65ページ

童心社



978-4-494-02342-4

介護の花子さん

あさばみゆき 著

かつて介護の仕事は、「3K(暗い・きつい・きたない)」などと呼ばれたが、今はまったく違う。そこは、「命」と「人生」に向き合うことのできる、最もドラマチックな仕事の最前線である。泣いて笑って感動して、仕事の素晴らしさに触れる、最高の物語。

家族・友達 仕事

2024年9月刊行

1100円+税／四六判／360ページ

Gakken



978-4-05-205983-4

誰も知らない のら猫クロの小さな一生

なりゆきわかこ 著／酒井さね 絵

これはまさに、「都会のシートン動物記」と呼ぶべき書籍！「自由気ままに生きている」と思われがちなの、のら猫の平均寿命は、飼い猫の3分の1～5分の1程度の「3～5年」。様々なのら猫たちの運命を、あたたかな、しかしシビアな目線で描いた、感動の1冊

短編小説 動物

2024年7月刊行

1100円+税／四六判／280ページ

Gakken



978-4-05-205984-1

キツネ山の夏休み

富安陽子 作・絵

弥(ひさし)は、百八びきの伝説のキツネに守られているという稲荷山のおばあちゃんの家で夏休みを過ごすことになりました。向かっている途中の電車の中で不思議な少年と出会い・・・

光と風と不思議でいっぱい、夏の輝きを描くファンタジー。

家族・友達 青春・感動

1994年7月刊行

1400円+税／A5変型判／269ページ

あかね書房



978-4-251-06164-5



978-4-591-18677-0

天空遊園地まぼろば

浜口 倫太郎 著

ようこそ、天空遊園地まぼろばへ。ここは、もう二度と会えない、あなたの大切な人と「再会」できる場所——。大好きだった父の死後、母と折り合いの悪い少女。出産を控えて、辛い別れをした元恋人に会いたいと願う女性。戦死した兄との約束が忘れられない90代の男性。大切な存在との「再会」を通し、残された人々が自分の心と向き合い未来へ歩み出す姿を描く、胸を震わせる5つのやさしい物語。

家族・友達 青春・感動

2025年7月刊行

1700円+税／四六版／271ページ

ポプラ社



978-4-338-26103-6

ねこのチャッピー

ささめやゆき 文・絵

時間はしずかにながれていく——。小学生だった娘は大人になり、あどけなかったチャッピーも年老いていく。夜のアトリエ、しずかにふりつづく雪の窓辺……ただそこにいるだけで、よかったんだ。画家の愛猫チャッピーと家族との日々をあたたかなまなざしで描く。

家族・友達

2011年9月刊行

1600円+税／28×21cm／31ページ

小峰書店



978-4-265-84060-1

灰とダイヤモンド

東曜太郎 作／中島花野 絵

ダイヤが手に入れば、俺たちの人生は変わる！！
舞台は1946年、敗戦直後の東京・新橋のヤミ市「新生マーケット」。過去と未来、罪と夢の狭間でものがきながら、敗戦後の東京を生きる少年たちの物語。
朝日小学生新聞(2025年10月2日)「この本いいよコーナー」で紹介された渾身の力作！

歴史・社会 青春・感動

2025年6月刊行

1500円+税／四六判／224ページ

岩崎書店



978-4-03-425070-9

ぼくはねこのバーニーがだいすきだった

ジュディス・ボースト 作エ／リック・ブレグバッド 絵／中村妙子 訳

かわいがっているねこの死を悲しむ男の子にお父さんは言った……。小さい読者に、死の概念を思いやりあふれる言葉で伝える絵本。

家族・友達 青春・感動

1979年1月刊行

1000円+税／19cm×16cm／27ページ

偕成社



978-4-265-84067-0

ポジション！

高田由紀子 作／丹地陽子 絵

運動が苦手な友達もいない僕がミニバス？
スポーツは苦手なのに背が高いという理由だけでミニバスケットチームに誘われた芽吹。「なにかが変わるかもしれない」と期待し、入団を決意したものの、人数不足解消の救世主が一転、後輩の入団で早くも戦力外のピンチ！そんなとき、数年ぶりに会ったルイが車いすバスケットで努力を重ねる姿に勇気をもらい、自分のポジションを探しながら成長していく物語。

青春・感動 スポーツ

2025年10月刊行

1500円+税／四六判／288ページ

岩崎書店



978-4-652-20738-3

万丸食堂、奇跡のソフトクリーム

山本悦子 作

万丸ビルにある食堂は、60年以上前から続く大食堂。名物は10段重ねのソフトクリーム。食べるともう二度と会えないはずの人に会えるとか、信じられないようなことが起こるとか。そんな奇跡がうわさされている。思いがけない出会い、大切な人との別れ、そして……。時間を行き来しながら食堂での不思議な出会いをたどるうちに、人々を見守る万丸食堂の奇跡の秘密が見えて来ます。

SF・ファンタジー 青春・感動

2026年2月刊行

1500円+税／B6判／158ページ

理論社